

FXトレードで勝てずに悩んでいた人が

たったひとつのことを実践し始めただけで

勝ち組トレーダーへの  
仲間入りを果たした方法を

総額43,600円以上の  
FX教材を無料でプレゼント

遂に公開！

定員になり次第、募集終了となりますので今すぐご確認ください。

たったひとつのことを実践し始めただけで  
勝ち組トレーダーへの仲間入りを  
果たした方法を遂に公開！

YWCTレードロジック事業部

若尾 裕二

## 著作権および使用許諾規約

本冊子は、著作権法により保護されている著作物です。

本冊子の取り扱いに関しましては、下記の点にご注意頂きますよう、よろしくお願い致します。

本冊子の著作権は、YWC Business Group トレードロジック事業部に帰属します。

弊社の書面の事前許可を得ずして、本冊子の一部、または全部を複製及び転載することを一切禁止します。

コピー、磁気記録媒体、光記録媒体、電子メール、メールマガジンなどでの複製・転載およびインターネット上で公開することを一切禁止します。

また、中古情報商材シェアサイト、並びにインターネットオークションなどを用いた転売、転載も一切禁止します。

万が一、上記の禁止行為を発見した場合は、速やかに弁護士を通じて法的手段によって解決を図ります。

そのような場合は、不正により得られた金額を基とした損害賠償、訴訟費用、不正に関わった人物の特定に掛かる探偵依頼費用等、莫大な金額の負担を強いられることを、あらかじめご理解下さい。

こちらのレポートの開封をもって、購読者は以上の規約に同意したことになります。

いつもありがとうございます。

YWCTトレードロジック事業部の若尾 裕二です。

特別メール講座「【世界最短最速】たったの 14 日間であなたが勝ち組トレーダーになる方法」の6日目のプレゼントは、いまお読み頂いているこちらの非売品レポートです。

このレポートに記載をしている内容は、FX 業者が包み隠している真実をあからさまにして  
いる内容なので、くれぐれもレポートの内容が外部に漏れないようにお気を付け頂きます  
よう、よろしくお願い申し上げます。

現在、日本国内のほとんどの FX 業者では、売買手数料は必要なしで取引をすることが  
可能になっています。

その代わりにスプレッドがあり、これが売買手数料の役割を果たしており FX 業者の利益  
になっております。

スプレッドとは買値と売値の差のことですが、この差が FX 業者の利益になっているという  
ことです。

現在は各業者間のスプレッド競争が勃発して、主要な通貨ペアでは、ものすごく狭いス  
プレッドになっていることは、あなたもご存知の通りです。

非常に多くの人が取引をしている米ドル／円(USD/JPY)を例に挙げますと、ほとんどの  
FX 業者ではスプレッドが1 銭(1pips)未満であり、0.3 銭(0.3pips)などという業者も珍しく  
はなくなってきたのです。

(参考例:ヒロセ通商)

キャッシュバック分を含めると実質



通貨ペア	スプレッド	注釈
USD/JPY 米ドル円	0.3 銭	※1 例外あり 原則固定
EUR/USD ユーロ米ドル	NEW 0.4 pips	※1 例外あり 原則固定
EUR/JPY ユーロ円	NEW 0.5 銭	※1 例外あり 原則固定

(参考例:GMOクリック証券)

1. 取引コストが安い  
業界最狭水準スプレッド (原則固定) ※例外あり

米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
0.3 銭	0.6 銭	0.7 銭
ポンド/円	NZドル/円	ユーロ/米ドル
1.1 銭	1.4 銭	0.5 pips

(参考例:DMM FX)

通貨ペア	スプレッド	配信率	通貨ペア	スプレッド	配信率		
 USD/JPY	米ドル/円	0.3銭	99.54%以上	 AUD/USD	豪ドル/米ドル	1.1pips	99.50%以上
 EUR/JPY	ユーロ/円	0.6銭	99.54%以上	 NZD/USD	NZドル/米ドル	1.7pips	99.42%以上
 GBP/JPY	ポンド/円	1.1銭	99.45%以上	 USD/CHF	米ドル/スイスフラン	1.6pips	99.47%以上
 AUD/JPY	豪ドル/円	0.7銭	99.47%以上	 USD/CAD	米ドル/カナダドル	1.8pips	99.53%以上
 NZD/JPY	NZドル/円	1.4銭	99.40%以上	 EUR/GBP	ユーロ/ポンド	1.4pips	99.34%以上
 CHF/JPY	スイスフラン/円	1.8銭	99.45%以上	 EUR/AUD	ユーロ/豪ドル	1.6pips	99.34%以上
 CAD/JPY	カナダドル/円	1.7銭	99.53%以上	 EUR/NZD	ユーロ/NZドル	3.5pips	99.35%以上
 ZAR/JPY	南アランド/円	1.4銭	96.73%以上	 EUR/CHF	ユーロ/スイスフラン	1.8pips	99.34%以上
 EUR/USD	ユーロ/米ドル	0.5pips	99.45%以上	 GBP/AUD	ポンド/豪ドル	1.9pips	98.31%以上
 GBP/USD	ポンド/米ドル	1.1pips	99.33%以上	 GBP/CHF	ポンド/スイスフラン	2.8pips	99.07%以上

サービスを提供するFX業者としては、トレーダーが被るトレードコスト面を有利に提供して、他業者よりも顧客を確保して、売買回数を増やしてもらおうと考えているわけです。

そして我々トレーダーとしては、スプレッドが狭くなるということは、それだけポジションを建てるために必要なトレードコスト(経費)が下がるということですから、大変に歓迎すべきことです。

そのような背景もあって、トレーダーの中には、これだけスプレッドが狭くなってきたんだから、以前よりもかなり儲けやすくなったと考える人たちが増えてきたのです。

だから、売買回数の多いスキャルピングのような短期トレードで、効率的にお金を稼ごう

と考える人たちが増えてきたのです。

FX手法の教材などでも、スキャルピング系やデイトレード系の教材は非常に多く発売されており、とても多く販売されております。

それらの教材の中には、FXは銀行ATMのようなもので、ちょっとした空き時間にパパッと稼ぐなどという怪しげな謳い文句の教材も発売されているくらいです。

でも、ここでハッキリとお伝えしておきたいことは、トレードは短期トレードになればなるほど難しくなるということです。

「サラリーマンで日中はチャートが見れないから、帰宅後に夜だけトレードをしています、思うように資金が増えていかないんですよえ。」

これまでに、そのような悩みを幾度となく耳にしてきました。

車のレースの世界では、F1レースが世界最高峰のレースだと言われていますが、FXトレードの世界では、スキャルピングがF1レースだとお考えください。

つまり、FXを始めたばかりの人がスキャルピングトレードに挑むということは、自動車の免許を取ったばかりの初心者ドライバーが、いきなりF1レースに挑もうとするようなものなのです。

とても危険極まりないことなのですが、FXではそのような無謀な人たちが後を絶ちません。

目まぐるしく動くチャートとにらめっこをして、瞬時に判断を下さなければいけないから稼ぎにくいというだけではありません。

そのこと以上に、FX では勝った時の利益幅と負けた時の損失幅のバランス(リスクリワードレシオ＝利益と損失の割合)が圧倒的に悪くなるという理由のほうが、継続的に勝ちにくい理由になっているのです。

ですが、それ以上にもっと勝ちにくい理由が存在しています。

それは、短期トレードはコスト負けしやすいということです。

つまり、短期トレードでは、利益がコスト(経費)に圧迫されやすいという理由が、短期トレードでは勝ちにくい最大の要因になっているのです。

これは明らかに業者側から仕掛けられた短期トレードの罠です。





それでは、以下に理解しやすいように具体例をあげて解説していきます。

A 君と B 君という二人のスーパートレーダーがいました。

A 君は、トレードスキルが高いスキャルピングトレーダーです。

そして B 君は、トレードスキルが高いスイングトレーダーです。

二人とも、米ドル／円(USD/JPY)の通貨ペアに限定をして、スプレッドが 0.3 銭の同じ FX 業者で取引をしていました。

A 君はスキャルピングトレーダーなので、1 日に平均 10 回のトレードをしています。



そして1か月間で200回のトレードをこなし、信じられないことに200連勝という大記録を打ち立てました。

1回のトレードでの平均獲得利益幅は、スキャルピングなので10pips だったのですが、200連勝なので、その月の獲得利益幅は2,000pips という驚異的な成績でした。

一方のB君はスイングトレーダーなので、2日に平均1回のトレードをしています。

そして1か月間で10回のトレードをこなし、これまた絶好調で10連勝しました。

1回のトレードでの平均獲得利益幅は、スイングトレードなので100pips ありました。

ですから、その月の獲得利益幅は1,000pips ということで、これまた素晴らしい成績をおさめました。

さて、ここで質問なのですが、A君とB君を比較した場合には、どちらのトレーダーが優れていると思いますか？

少し考えてみてください。

このように質問をすると、100人に聞けば、ほぼ全員がA君のほうが優れていると答えます。

なぜならA君は、200連勝もしたということですし、獲得利益幅も2,000pips ですからね。

連勝数も、獲得利益幅も、A君のほうがB君よりも上です。

そのような理由から、ほとんどの人はA君のほうが優れたトレーダーだと考えるのです。

でも実は、それは大衆(=負け組)の視点から見た優劣の判断であって、勝ち組トレーダーが優劣を判断するためには欠かせない、あるひとつの視点が欠けた判断になっているのです。

そのあるひとつの欠けている視点とは、コスト(経費)です。

それでは、二人のトレーダーの実績を、別の角度で分析を試してみましよう。

トレードを行うに当たり、避けて通れないのはトレードコスト(トレードを執行するために掛かる経費)です。

トレードコストとは、FXではこのレポートの冒頭で述べたように、ひとつはスプレッドを上げることができます。

二人は0.3銭のスプレッドの業者でトレードをしていました。

実際にはスプレッド以外にも、スリッページというトレードコストも発生することが大半なのですが、業者や相場状況によってもスリッページには変動がありますので、ここではスリッページは一切加味しないで説明を続けさせていただきますね。

ちなみにスリッページとは、約定時に数 pips 価格がすべて約定することを言います。

100 円で売りのストップ(逆指値)注文を入れておいたのに、約定時にスリッページが発生して 99.998 円で約定された!ということが頻繁にあるのです。

このようなケースでは、0.2 pips 分が、スリッページによってトレードコストが余計に掛かった!ということになります。

そのような状態のことを、スリッページが発生したと言います。

このスリッページですが、当然ながら取引回数が多ければ多い分だけ、積み重ねれば膨大な値幅のトレードコストになるということを、ここではしっかりと頭に叩き込んでおいてください。

だから、スプレッドの狭さだけではなく、スリッページが発生しにくい業者を選別することも、トレードを有利に継続していくためには重要な選択になります。

スプレッドと違い、スリッページは毎回一定ではないので、発生しやすいかしくないのかは、実際のトレードを繰り返して、最終的にはご自身で判断頂くしかないので。

FX 業者の口座開設を促進して収益を上げているアフィリエイトという人たちが、ウェブサイトで口座開設させるために大袈裟な表現で業者の宣伝をしています。

そのようなことが行われているという背景を知っておけば、あなたは調子のよい宣伝文句に今後は惑わされることはないでしょう。

さて、話を元に戻しましょう。

それでは A 君の1か月間のスプレッドによるトレードコストはどのくらいになるでしょうか？

スプレッド 0.3 銭 × 200 回のトレードなので、60pips 分のスプレッドによるトレードコストが発生している計算になります。

それでは B 君の1か月間のスプレッドによるトレードコストはいかがでしょうか？

スプレッド 0.3 銭 × 10 回のトレードなので、3pips 分のスプレッドによるトレードコストで済みました。

スプレッドによるトレードコスト面では、トレード回数が少ない分だけ、圧倒的に B 君のほうが有利でした。

それでは最後に、トレード効率という面から二人のトレードを比較してみましよう。

A 君は 2,000pips の利益幅を獲得するために、60pips 分のスプレッドによるトレードコストを掛けたので、コスト比率は 3%ということになります。

そして B 君は、1,000pips の利益幅を獲得するために、3pips 分のトレードコストを掛けたということなので、コスト比率は僅か 0.3%だったということです。

これを見て、3%と 0.3%って確かに 10 倍の差があるけど、そんなに違うの？って、あなた

は思われたかもしれませんね。

ですから、銀行のATMで、1万円を引き出す時のことを少し考えて頂けますでしょうか？

通常の銀行の場合は、時間外取引の場合は1万円を引き出すのに100円＋消費税の手数料が掛かりますね。

		0:00	8:00	8:45	10:00	15:00	18:00	20:00	23:00	24:00
月曜日(*2)～ 金曜日	お預入れ(*1)									
	お引出し	216円	108円					108円		216円
	お振込(*3)(*4)									
	残高照会・暗証番号変更(*4) 通帳記入・Pay-easy(ペイジー)									
	お振替			手数料はかかりません						
	定期預金お取引	ご利用 いただけません						ご利用 いただけません		
	外貨預金お振替									
	宝くじのご購入(*5)									

この場合は、1%＋消費税分のコスト(経費)を掛けて、1万円を引き出すということになります。

そのような状況で、3%と0.3%のコスト比率で比較をしてみたいかがでしょうか？

1万円を引き出すのに、コスト比率が3%の場合は300円の手数料を取られることとなります。

一方で、1万円を引き出すのに、コスト比率が0.3%の場合は30円の手数料で済むというわけですね。

3%のコスト比率って、このようにお考え頂くとバカにならない比率なのです。

話をトレードの話に戻しますが、次のように考えて頂くこともできます。

A君は、1日の平均獲得利益幅 100pips の 6 割分を、1か月間のトレードコストで食いつぶしてしまっているということになります。

200 連勝などというあり得ないほどのスキャルピングのスーパートレーダーの A 君でさえ、1か月間のトレードコストはそれだけ掛かってしまうということです。

もし仮に、A君の勝率が80%で、損失のトレードの時も平均10pips やられるということでしたら、どのような結果になるのでしょうか？

200 回の取引で勝率が 80%ですから、 $200 \text{ 回} \times 80\%$ で、160 回の勝ちということになります。

つまり、 $160 \text{ 回} \times 10\text{pips}$  で勝ち幅は 1,600pips ということになります。

そして、そこから負け幅を引かなければなりません。

勝率が 80%なので、20%の取引は負けということになります。

つまり、 $200 \text{ 回} \times 20\%$ で 40 回の負けということになります。

負ける時も平均 10pips ということですから、 $40 \text{ 回} \times 10\text{pips}$  で、400pips の負け幅ということになりますね。

ということで、勝ち幅の 1,600pips から負け幅の 400pips を差し引くと、1 か月間の利益獲得値幅は 1,200pips ということになります。

そして、どれだけ勝ちが多かろうが、負けが多かろうが、そんなことに関係なく掛かってくるのがトレードコストなのです！

1 か月間に 200 回のトレードをしているので、スプレッドによるトレードコストの合計は 60pips で、このコストは勝率にはまったく関係のない固定費のようなものです。

200 連勝ではスプレッドによるコスト比率は 3%だったものが、勝率 80%ではスプレッドによるコスト比率は、1.67 倍の 5%にまで膨れ上がってしまうのです！

つまり、勝率が下がれば下がる分だけ、思いっきりコスト比率は膨大な比率のコストとして、あなたのトレードにのしかかってくるのです。

多くの勝てていないトレーダーは、そのようなことに気が付かずに、平気でトレードを、ただ頻繁に繰り返しているのです。

もう完全に己のトレードの利益が、トレードコストに圧迫をされてしまっているのです。



「そりゃ、儲かるわけないですよねえ。」

もうひとつ、ほとんどのトレーダーが把握をしていない[こちらの驚愕のデータ](#)もクリックして是非ご覧ください。

こんなスプレッドが大きく開きすぎている時にもし仕掛けていたら、あなたのポジションはどうなってしまうのかを想像をしてみてください。

しかも、スプレッドによるトレードコスト以外にも、先ほど少しだけ説明をさせて頂いた、スリッページによるトレードコストもプラスアルファのトレードコストとして、重くのしかかってくるわけです。

スリッページによるトレードコストも、取引回数が多ければ多い分だけ積み重なることは言うまでもないですね。

これが業者によって仕掛けられている「短期トレードの罠」です。

罠なので、FX業者はこの事実は公にすることはしていないのです。

売買手数料を無料にしているので、トレードを頻繁に繰り返してくれる短期トレーダーは、FX業者にとっては優良顧客なのです。

トレードをしてくれればしてくれるほど、スプレッドやスリッページでの収益をFX業者は得ら

れるわけですからね。

我々トレーダーのコストはFX業者の利益でもあり、表裏一体の関係なのです。

だから、さまざまなFX業者で、やれトレードコンテストだの、やれ約定数に応じてプレゼントだの、トレードを頻繁にしてもらえるように仕向けているのです。

この事実が明らかになってしまえば、短期トレードをしようとする人は激減するでしょうし、そうなればそうなったでFX業者は淘汰され、我々トレーダーとしては不利な状況に追い込まれてしまうでしょう。

スキャルピング派のトレーダーで、勝率もそこそこ良くて利益対損失比も悪くはないのに、お金が思うように増えていかないというトレーダーが巷には大勢います。

特にそのようなトレードスタイルで、これまでにトレードを繰り返してきたトレーダーは、今後はよく考えて十分に気を付けるようにして下さい。

**あまりにも無防備にFXをしている人が多すぎる**ような気がします。

僕がトレードを始めた頃のように、売買手数料という目に見える形でのコストでしたら、トレードする時に意識をするものでしょう。

ですが、今のコストは目に見えないコストとも言えるべきものなので、意識をしていないトレーダーが多すぎるのです。

トレードするために運用している資金は、汗水流して手に入れた大切なお金なので、これから賢く運用をしていくようにして下さい。

そして、ここまでお読み頂いたので、もう既に気が付いていることですが、あなたが勝てない最大の理由は、「いたずらにトレード回数が多すぎるから」です。

だから、あなたがこれからしっかりと勝ち続けていくためには、「まずはトレード回数を減らすことが必要」になってくるのです。

つまり、最後にまとめさせていただきますが、あなたに伝えたかったことは以下の一点です。

## 勝ち続けたければ取引回数を見直すこと！

そのたったひとつのことに気を付けて、そして継続的に実践するだけで、勝ち組トレーダーの仲間入りを果たしたトレーダーはたくさんいるのです。

もちろん、僕もその中の一人ですし、僕が指導してきたトレーダーたちも同様です。

このレポートが、これからのあなたのトレードライフのお役に立てれば幸いです。

[弊社の公式ブログ](#)に、長い経験の中からしか得られないことを多数掲載しています。

ぜひお気に入り(ブックマーク)に追加をして頻繁にご覧頂ければ、投資教育者としては嬉しい限りです。

それでは今後とも、有益な情報提供に尽力していきますので、末永くお付き合いを頂けるように、何卒よろしくお願い申し上げます。

あなたの貴重な時間を割いて頂き、最後までお読み頂いたことに心から感謝申し上げます。

そして、あなたのこれからのトレードライフが素晴らしいものになるように、心から願っております。

最後までご精読、誠にありがとうございました。

**YWCトレードロジック事業部**

**若尾 裕二**

連絡先メールアドレス：[info@ywc-tradelogic.com](mailto:info@ywc-tradelogic.com)